

平成24年度

朝日町予算説明書



朝日町総務課

目 次

◎ 平成24年度 一般会計予算の概要	1
◎ 町民生活と地域経済を守る 緊急対策	2
◎ 事業別予算説明	
1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる「地域力の向上」	
1-1 地域を支える人材の育成	3
1-2 郷土愛を育む活動の推進	3
1-3 未来を担う子ども達の教育環境づくり	5
2. 安定した暮らしができる産業をつくる「産業力の向上」	
2-1 地域特性を活かした農業の産地力の強化	7
2-2 まちに活力を生み出す産業の創出	9
2-3 地域の宝物を活用した交流・観光の推進	11
3. 安心と魅力のある定住環境をつくる「定住力の向上」	
3-1 みんなで支える子育て環境の整備	12
3-2 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備	16
3-3 安全安心で、快適な環境の整備	17
◎ 平成24年度の主要な施策一覧 (一般会計)	22
◎ 平成24年度 当初予算額 (会計別総括表)	25
◎ 一般会計予算額 (決算額) の推移	26

平成24年度 一般会計予算の概要

平成24年度実施計画基本方針

希望あふれる未来のために、安全・安心なまちづくりを進めるとともに、人々が定住し、潤いのある安定した暮らしを実現するため、産業の振興を図り所得の向上や雇用を確保する。

- みんなで暮らしを守る安全・安心
- 安心で安定した暮らしを実現する産業の振興 【産業力】
- 集落の特性を活かした地域づくり 【地域力】
- 自信と誇りを持った、たくましい人づくり 【地域力】
- この町だから子育てしやすい、したいと思う子育て支援 【定住力】
- 暮らしやすく幸せを実感できる定住支援 【定住力】

・まちづくりの基本指針となる、「第5次朝日町総合発展計画」の実施5年度としての基盤づくりのために、「平成24年度実施計画基本方針」に沿って対応する事業（プロジェクト）へ、重点化を図り実施する。
 ・引き続き、効果的な事務事業の推進等の行財政健全化の方策を着実に実行し、確実に予算編成に反映させる。

(千円)

(1) 第5次朝日町総合発展計画を実現するための3つの柱に行財政資源を集中

○ 信頼とつながりにより地域の力をつくる	【地域力の向上】	210,905
○ 安定した暮らしができる産業をつくる	【産業力の向上】	165,213
○ 安心と魅力のある定住環境をつくる	【定住力の向上】	1,258,879

1. 予算規模 41億1,600万円

(平成23年度当初 42億400万円、 比較増減▲8,800万円 (▲2.1%))

2. 歳入について

○一般財源

(単位：千円、%)

	24年度	23年度比較増減		備考
		額	率	
町税	527,295	▲11,865	▲2.2	固定資産税の減
地方交付税	2,280,000	0	0.0	地方財政計画に基づく推計による
臨時財政対策債	180,000	▲30,000	▲14.3	地方財政計画に基づく推計による
財政調整基金繰入金	135,358	101,358	298.1	
その他(譲与税、交付金他)	233,438	▲13,870	▲5.6	地方財政計画に基づく推計による
一般財源総額	3,356,091	45,623	1.4	

3. 町民生活と地域経済を守る緊急対策

(千円)

■普通建設事業の堅実な実施 386,608

○比較的に少額の事業を数多く実施し、地域の事業者の受注機会を確保する

■雇用対策

○緊急雇用対策 16,050

◆事業者が行う失業者の雇用を支援するとともに、町臨時職員を増員し雇用の場を確保する

○新規学卒就業者奨励金 300

◆町内に就業する新規学卒者に対して、3万円を給付する

■地域産業への緊急支援

○持家住宅支援事業 22,500

◆持家住宅建築奨励金、住宅リフォーム総合支援事業補助金、木材製品利用住宅建築奨励金、をあわせると、持ち家住宅の建設工事（新築、増改築、修繕等）に対して、最大で100万円の助成金を交付

○商工業融資制度保証料補給金 3,750

◆セーフティネット保証への対応

○商店街活性化対策 1,500

◆地域振興券の10%増分であるプレミアムセットへの補助

■安全安心な町づくり

○公共施設の耐震化 48,500

◆西五百川小学校体育館建設事業

◆北部体育館耐震診断

《参考》

平成23年度補正予算対応分

～平成24年度以降の実施を計画していた事業の前倒し実施～

■西五百川小学校体育館建設事業 【国補正】 364,300

■緊急防災・減災事業 【国補正関連】 350,000

庁舎・開発センター・町民体育館耐震化改修、非常用発電装置設置

1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる

「地域力 の向上」

基本方針 1-1：地域を支える人材の育成

～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～

☆ 地域を支えるリーダー、NPO等の団体育成 「協働のまちづくり推進プロジェクト」

(担当：教育文化課)

町では、「協働のまちづくり指針」を策定し、町民が自主的に町づくりに参加し、町民と行政との協働によるまちづくりを本格的に進めます。

そのためには、地域を支え、町を支える人材が必要不可欠であり、人材育成事業として「Newアクション応援事業」に取り組みます。



主な経費

・ 運営委託料	増額	150万円
---------	-----------	-------

	財源内訳	
--	------	--

・ 町の負担（一般財源）	150万円
--------------	-------

基本方針 1-2：郷土愛を育む活動の推進

～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～

☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり 「地域活動促進事業」

(担当：政策推進課)

地域の創意と工夫を活かした「元気な地域づくり」をめざす自治活動を応援し、地域の特徴にあった事業や活動の展開に向け交付金等で支援します。

主な経費

・ 地域提案型交付金（共助活動による民家等の雪対策含む）	1,110万円
・ 除雪費支給事業	180万円

	財源内訳	
--	------	--

・ 町の負担（志藤六郎村おこし基金からの繰入れ）	100万円
・ 町の負担（一般財源）	1,190万円

☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり
「地域づくり推進事業」

(担当：政策推進課)

特色ある地域づくりを応援し、町が一緒になって地域づくりを考え取り組めるような窓口の設置を進めます。また、地域づくり活動を応援する制度のメニュー化や地域づくりを担う人材の研修に取り組みます。

主な経費

- ・ 地域づくり研修、地域支援職員担当事業、集落調査など 350万円
- ・ 地域づくり活動支援補助金 (地域連携活動、学校跡地活用など) 130万円
- ・ 緑のふるさと協力隊 **新規** 578万円

財源内訳	
・ 町の負担 (一般財源)	1,058万円

「(仮称) 和合地域振興センター整備事業」 (担当：政策推進課・産業振興課)

和合地域の振興を目的とした拠点施設の建設に着手するため、住民と行政が連携して計画づくりを行います。

主な経費

- ・ (仮称) 和合地域振興センター整備事業 600万円

財源内訳	
・ 町の負担 (一般財源)	600万円

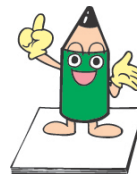
☆ 一人一人が町を好きになる取組み
「エコミュージアム推進事業」

(担当：政策推進課)

朝日町の様々な魅力がこめられた「朝日宝物がたり」を基に、町を題材としたまちの宝物カルタの企画、町の案内人の会やNPO朝日町エコミュージアム協会との協働による朝日町検定の開催などに取り組んでいきます。

主な経費

- ・ 朝日町検定 **新規** 45万円
- ・ 宝物がたり普及事業 **新規** 22万円
- ・ エコミュージアムルーム運営業務 200万円
- ・ エコミュージアム紀行の開催など **新規** 20万円



財源内訳	
・ 町の負担 (一般財源)	287万円

基本方針 1-3 : 未来を担う子ども達の教育環境づくり

～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～

☆ 子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる

「学力向上支援事業」

(担当：教育文化課)

一人ひとりの児童・生徒に対するきめ細かな教育を支援し、知識や技能、思考力等の総合的な学力の向上を図ります。

平成24年度学級編成一覧表(予定)

H24.3.19現在

学校名	児童・生徒数							学級数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
西五百川小学校	10	14	7	14	12	12	69	7
宮宿小学校	25	26	31	28	34	29	173	8
大谷小学校	11	7	13	22	13	12	78	7
朝日中学校	53	74	55				182	8

主な経費

- ・ 学力向上推進事業 150万円
- ・ 学習生活指導補助員等の配置 600万円
- ・ 教育研究所運営 148万円
- ・ 英語指導助手 (ALT) 招致事業 484万円

財源内訳

- ・ 町の負担 (一般財源) 1,382万円

「あさひ教育の日」推進

(担当：教育文化課)

町民一人ひとりの教育に対する関心と理解を深め、家庭、学校及び地域社会の連携の下に、より一層の教育の充実と発展を図るため、11月1日を「あさひ教育の日」と決めました。毎年10月、11月を「あさひ教育月間」とし、重点的に取り組みます。

主な経費

- ・ 「あさひ教育の日」推進 **新規** 91万円

財源内訳

- ・ 町の負担 (一般財源) 91万円

☆ 安心して教育が受けられるための支援・教育内容にあった施設整備
「小学校体育館整備事業・武道館等改修事業」 (担当：教育文化課)

安全・安心な学校生活を送れるよう、西五百川小学校体育館の整備、朝日中学校武道館及び町民プールの改修を実施します。

主な経費

・西五百川小学校体育館整備事業		4,600万円
・朝日中学校武道館改修事業	新規	1,130万円
・町民プール改修事業	新規	2,500万円

財源内訳

・町の借金（緊急防災・減債事業債）	4,600万円
・町の負担（一般財源）	3,630万円

【参考】西五百川小学校体育館整備は平成23年度と平成24年度の予算で実施し、平成24年度に完成の予定です。

平成23年度予算分

・西五百川小学校体育館整備事業	3億6,430万円
-----------------	-----------

財源内訳

・国の負担	1億 105万円
・町の借金（緊急防災・減債事業債）	2億3,340万円
・町の負担（一般財源）	2,985万円



宮宿小学校体育館（平成24年2月完成）



2. 安定した暮らしができる産業をつくる

「産業力 の向上」

基本方針 2-1：地域特性を活かした農業の産地力の強化 ～朝日町ブランドづくりを進める～

☆ 安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり

「高品質りんご生産緊急対策事業」

(担当：産業振興課)

樹木の高齢化と品種構成の偏りによる品質低下を抑え、「朝日町りんご」の更なるブランドづくりを行うため、ワイ化改植による優良品種への更新について支援します。

主な経費

・高品質りんご生産緊急対策事業

450万円

財源内訳

・町の負担（一般財源）

450万円

○補助対象品種

シナノスイート、秋陽、ファーストレディ等の
奨励品種

○その他

詳細については、担当までお問合せ下さい。



☆ 「安全安心米」づくり「清流美人」等のブランド化、販売促進の支援

「ブランド米生産・販売促進事業」

(担当：産業振興課)

人工衛星を利用し、刈り取り前に良質米を厳選した「あさひ清流美人」のブランド確立を図るため、生産技術の向上及び販売促進を支援します。

主な経費

・ブランド米生産・販売促進事業

170万円

財源内訳

・町の負担（一般財源）

170万円

☆ 農業の担い手の育成

「後継者・新規就農者支援対策事業」

(担当：産業振興課)

研修制度や生活支援及び就農条件の整備など、新規就農者等が安心して就農できる総合的な支援体制づくりを図ります。

主な経費

・受入れ農家への研修受入助成	36万円
・研修期間中の家賃補助	12万円
・新規就農者生活支援	30万円
・農業大学校授業料補助	24万円
・就農条件整備支援	300万円
・農地利用集積補助	10万円
・青年就農給付金補助 新規	450万円

財源内訳

・県の補助	384万円
・町の負担（一般財源）	478万円

「農業新分野等支援事業（農家提案型補助事業）」

(担当：産業振興課)

農業団体や認定農業者・新規就農者等が行う、農業分野での先進的な取り組みとなる事業や新技術導入事業など、町農業振興のモデルとなる事業について支援します。

主な経費

・農業新分野等支援事業	200万円
-------------	-------

財源内訳

・町の負担（一般財源）	200万円
-------------	-------

《支援例》

- 花木通年栽培普及支援
- 施設園芸新規作物導入支援
- 果樹栽培新技術導入支援



基本方針 2-2：まちに活力を生み出す産業の創出

～多様な連携による産業集積と創造的 [ものづくり] を進める～

☆ 既存企業の振興

「商工業活性化対策事業」

(担当：産業振興課)

既存企業の活動支援、まちの産業産物が一堂に会する産業まつりをはじめとしたイベントの実施、優れた技術をもつ町内企業の雇用応援、設備投資支援など、まちを元気にする商工業者を応援します。

主な経費

・産業力向上海外研修事業補助	15万円
・緊急雇用確保対策事業	120万円
・雇用維持緊急教育訓練事業	50万円
・販路拡大対策事業	100万円
・町商工会指導事業	350万円
・産業まつり	100万円
・商業活性化対策事業	260万円
・事業振興協議会補助	17万円
・産業立地促進奨励金	1,654万円

財源内訳

・町の負担（一般財源）	2,666万円
-------------	---------

「新規学卒就労者奨励金支給」

(担当：産業振興課)

就業と町内事業所の雇用確保を支援するため、町内に就業する新規学卒者に対して3万円を支給します。

主な経費

・新規学卒就労者奨励金支給	30万円
---------------	------

財源内訳

・町の負担（一般財源）	30万円
-------------	------



☆ 新たな事業創出への支援・育成

「新事業経営安定対策事業」

(担当：産業振興課)

朝日町の地域資源を活用した付加価値の高い特産品開発等による新たな事業の立ち上げに対し、引き続き奨励金を貸与します。

主な経費

・新事業経営安定対策事業 200万円

財源内訳

・町の負担（一般財源） 200万円

《奨励金の貸与と返還》

対象経費総額の50%以内で100万円を限度に奨励金として貸与します。

貸与期間が終了した時点でその事業を継続している場合は、奨励金の返還が免除されます。

「朝日町産業創造推進機構支援事業」

(担当：産業振興課)

平成20年度に創設された「朝日町産業創造推進機構」へ運営のための補助金を交付し、起業のための支援や、起業された方への経営安定化に向けた支援、都市との交流観光事業による商品の販路開拓等を行います。



主な経費

・朝日町産業創造推進機構運営補助 1,400万円

財源内訳

・町の負担（一般財源） 1,400万円



基本方針 2-3：地域の宝物を活用した交流・観光の推進

～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～

☆ 観光振興体制の充実

「朝日町観光協会職員体制整備事業」

(担当：産業振興課)

交流人口の拡大を目指し、町の観光情報の収集や発信、また観光資源の調査や観光ソフトの開発などを更に充実させるため、観光協会に「観光振興推進員」と「事務局員」を配置し、観光振興体制の充実を図ります。

主な経費

・ 観光協会職員人件費補助等 920万円

財源内訳

・ 町の負担（一般財源） 920万円

☆ 観光交流受入体制の充実

「観光施設整備振興事業」

(担当：産業振興課)

来訪者へのもてなしの心を大切に持ち、更なる観光交流を推進するため、観光案内板等を設置します。また、地域資源を活用した交流観光による経済活性化を進めるため、総合交流拠点施設整備について調査、検討を行います。

主な経費

・ 総合交流拠点施設調査 30万円

・ 観光案内板整備事業 700万円

財源内訳

・ 国の補助 390万円

・ 町の負担（一般財源） 340万円

☆ 観光交流情報の収集・発信体制の充実

「地域情報発信力強化事業」

(担当：政策推進課)

町の良さや魅力を伝え、朝日町の認知度とイメージの向上を図るため、情報発信戦略を策定し、効果的な広報・宣伝活動の展開を図るとともに、地域ブランドの構築を行います。

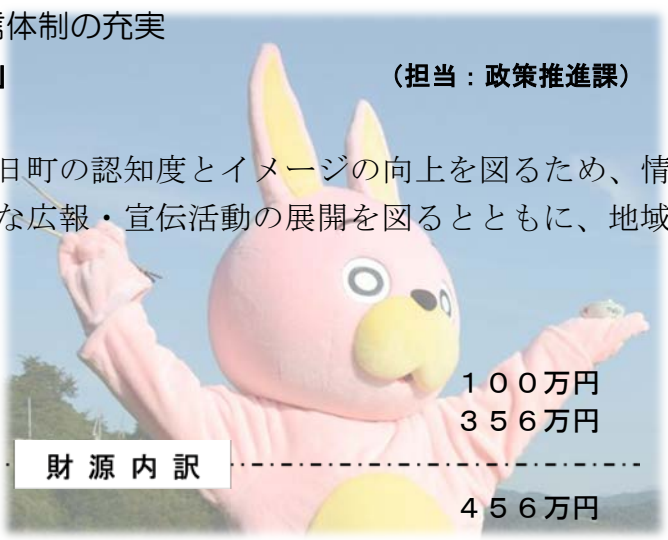
主な経費

・ 情報発信戦略推進事業 100万円

・ 地域おこし協力隊事業 356万円

財源内訳

・ 町の負担（一般財源） 456万円



3. 安心と魅力のある定住環境をつくる

「定住力」の向上

基本方針 3-1：みんなで支える子育て環境の整備

～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～

☆ 子育てを支える多様な仕組みづくり

「保育園等運営委託事業」

(担当：健康福祉課)

通常保育のほか、早朝・延長保育に土曜保育など、多様化する保育ニーズへの迅速な対応と子育て世代への支援強化を図るため、民間活力を生かしたより良い保育園運営を目指し、社会福祉法人「あさひ会」へ運営を委託します。また、仕事などで保護者や家族の方が、昼間家庭に不在となる児童等に対しては、「放課後児童クラブ」を開設します。

主な経費

- ・あさひ保育園
- ・子育て支援センター
- ・放課後児童クラブ
- ・通園バス運行等

運営委託 **増額** 1億3,750万円

財源内訳

- ・国の交付金 500万円
- ・県の交付金 180万円
- ・利用者の負担（保育料等） 3,058万円
- ・町の負担（一般財源） 1億 12万円

「あさひ保育園」平成24年度入所児童数（予定）

3歳児未満	3歳児	4歳児	5歳児	計
18	53	59	47	177



☆ 子育てにかかる経済的負担の軽減

「中学生以下医療費完全無料化事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援として、完全無料化の対象を平成 24 年 7 月から中学生までとします。

これは、県の子育て支援の非該当者及び、県の子育て支援医療制度において発生する自己負担分に対し、町がさらに助成するものです。

ただし、入院時の食事代や差額室料など自費負担のものは該当しませんのでご注意ください。

主な経費

・子育て支援医療給付費	拡充	2,860万円
・子育て支援医療審査支払	拡充	169万円

財源内訳

・県の負担	494万円
・町の負担（一般財源）	2,535万円

○手続きの流れ

役場に医療証の ⇒ 医療機関の窓口へ ⇒ 受診 ⇒ 費用精算の際に
 交付を申請 保険証とともに提示 助成



☆ 子育てにかかる経済的負担の軽減

「子どものための手当支給事業」

(担当：健康福祉課)

中学 3 年生までの子どもの保護者に、下記のとおり手当を支給します。

- ・ 3 歳未満 15,000円
- ・ 3 歳以上小学生以下 10,000円 (ただし、第 3 子以降は 15,000円)
- ・ 中学生 10,000円

主な経費

・子どものための手当支給	1億 677万円
--------------	----------

財源内訳

・国の負担	7,632万円
・県の負担	1,324万円
・町の負担（一般財源）	1,721万円

「第 2 子以降（3 歳児以上）の保育料の軽減」 （担当：健康福祉課）

子育て支援として、平成 19 年度から第 2 子以降（3 歳児以上）の保育料を 5,000 円に定額化しています。（3 歳未満児は対象外です。）

影響額

・ 5,000 円定額化による保育料の軽減総額 1,805 万円

「18 歳以下季節性インフルエンザワクチン接種助成事業」 （担当：健康福祉課）

18 歳以下の子ども等が受けた季節性インフルエンザワクチン接種費用に対し、1,500 円の自己負担で接種できるように町が助成します。

主な経費

・ 18 歳以下インフルエンザワクチン接種助成 120 万円

	財源内訳	
・ 町の負担（一般財源）		120 万円

「子宮頸がん等ワクチン接種事業」 （担当：健康福祉課）

中学 1 年生を対象とした子宮頸がん予防ワクチン、5 歳未満の子どもを対象としたヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを無料で接種できるようにしています。

主な経費

・ 子宮頸がん等ワクチン接種経費 499 万円

	財源内訳	
・ 県の補助		330 万円
・ 町の負担（一般財源）		169 万円



☆ 健やか健診、育児健診等の実施

「妊婦健康診査助成事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援として、無料妊婦健診受診券交付を14回分とします。これにより、経済的負担を軽減するとともに、妊婦健康診査の受診を推進し、母体や胎児の健康確保を図ります。

また、基本的な検診項目の他にも、子宮頸がんの検査や白血病の母子感染を防ぐための検査なども助成を行い、受けやすい環境をつくっています。

主な経費

・ 無料妊婦健診受診券交付（14回分）	331万円
・ 妊婦健診償還払補助	8万円

財源内訳

・ 県の補助	91万円
・ 町の負担（一般財源）	248万円

☆ 地域で支える子育て環境の整備・充実

「放課後子ども教室の開設」

(担当：教育文化課)

放課後の子どもたちが安全安心な居場所を確保するため、「放課後子ども教室」を引き続き開設します。

主な経費

・ 放課後子ども教室	148万円
------------	-------

財源内訳

・ 県の負担	96万円
・ 町の負担（一般財源）	52万円

☆ 独身者の婚活に対する支援

「結婚支援事業」

(担当：政策推進課)

婚活を望む独身者に対し、出会い・結婚につながるサポート体制を充実させ、地域全体で結婚活動を後押しする取り組みを実施します。

主な経費

・ 朝日町婚活推進連絡会議負担金	80万円
------------------	------

財源内訳

・ 町の負担（一般財源）	80万円
--------------	------

基本方針 3-2：健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備

～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～

☆ 地域医療の充実

「朝日町立病院運営費」

(担当：町立病院)

町民の皆様へ、質の高い思いやりのある医療・保健・福祉を提供いたします。

主な経費

・町立病院収益的収支	7億8,770万円
・町立病院資本的支出	9,370万円

財源内訳

・病院会計	6億2,008万円
・病院会計の負担（借金・病院債）	1,850万円
・国の補助（国保調整交付金）	540万円
・国の補助（交付税）	1億9,242万円
・町の負担（一般財源）	4,500万円

☆ 地域における支え合い：高齢者自立生活支援システムの整備

「高齢者の安全、生きがい活動支援」

(担当：健康福祉課)

緊急時対策に加え、社会福祉協議会や民生児童委員等、推進機関との連携を図り、各種教室や元気クラブなど、楽しみながら健康で社会参加できる高齢者の生活を支援する活動を進めます。



主な経費

・高齢者世帯訪問調査	123万円
・地域福祉計画策定 新規	245万円
・社会福祉協議会運営、高齢者等サロン活動促進	730万円
・民生児童委員活動費等助成	382万円
・長寿クラブ助成、福祉バス運行委託等	393万円

財源内訳

・県の負担	285万円
・町の負担（一般財源）	1,588万円

介護保険特別会計で行っている主な事業

- ①介護予防事業 548万円（ぴんしゃん教室、介護予防教室、元気クラブ等）
- ②包括的支援事業 350万円（ケアマネージャー支援）
- ③任意事業 494万円（紙おむつ支給事業、介護者交流会等）

基本方針 3-3 : 安全安心で、快適な環境の整備

～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～

☆ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立

「木造住宅簡易耐震診断助成事業」

(担当：建設水道課)

大規模地震に備え、木造住宅の耐震診断を希望する住宅の所有者に対し、町で耐震診断士を派遣し、その費用の一部を負担します。

■ 診断士派遣費用 6 万円 (1 棟当たり)

【負担割合】

- ・町の負担 (9割) 54,000円
- ・所有者負担 (1割) 6,000円

主な経費

- ・木造住宅簡易耐震診断委託 (10戸分) 60万円

財源内訳

- ・国の負担 30万円
- ・町の負担 (一般財源、※所有者負担分6万円含む) 30万円

☆ 快適で多様な住宅環境の整備

「持家住宅支援事業」

(担当：建設水道課)

自ら居住する持家住宅の50万円以上の建設工事(新築、増改築、修繕等)に対し、助成金を交付します。また、町内に建築された木造住宅(新築及び増改築)に対し、助成金を交付します。最大で100万円の助成となります。



主な経費

- ・町持家住宅建築補助 1,500万円
- ・県住宅リフォーム支援補助 600万円
- ・木材製品利用住宅建築補助 150万円

財源内訳

- ・県の負担 600万円
- ・町の負担 (一般財源) 1,650万円

助成制度

① 持家住宅建築奨励補助金 (限度額50万円)

町内建設業者との契約に限ることとし、費用の10%以内を補助します。

② 木材製品利用住宅建築奨励補助金 (限度額30万円)

町内製材業者から納入し使用するか、または町内建築業者施工のものに限り、国内産木材製品額の40%以内を補助します。

③ 住宅リフォーム総合支援事業補助金 (限度額20万円)

県内建設業者との契約に限ることとし、費用の10%以内を補助します。

☆ 快適で多様な住宅環境の整備
「生活排水処理事業」

(担当：建設水道課)

町では、大谷地区を除く町内全域に合併処理浄化槽設置を推進し、多様な助成制度等を設け普及促進を図り、快適な排水処理環境確立に努めます。

主な経費

- ・合併処理浄化槽設置補助 1,572万円
- ・西町排水路整備工事 900万円

財源内訳

- ・国の負担 264万円
- ・町の負担（一般財源） 2,208万円

各種助成制度の一例

①合併処理浄化槽設置補助金

5人槽…55万円、7人槽…68万円、10人槽…95万円

②若者定住奨励金（5万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において、夫婦の一方が40歳未満、または18歳以下の扶養者が1名以上の世帯

③転入者奨励金（20万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において転入した世帯

④単独浄化槽切替促進助成金（10万円）

単独浄化槽から合併浄化槽に切替工事をした場合、これまでの切替補助金（5万円）に切替奨励金（5万円）を上乗せし、計10万円を助成します。

☆ 快適で多様な住宅環境の整備
「定住対策事業」

(担当：政策推進課)

転入を促進できる環境づくりを推進するため、空き家バンクの充実、定住に関する各種補助金等を交付するとともに、住宅団地分譲を促進します。

主な経費

- ・空き家利用促進奨励金 増額 50万円
- ・定住支援助成金 100万円

財源内訳

- ・町の負担（一般財源） 150万円

各種助成制度の一例

①空き家利用促進奨励金

空き家バンクを介し空き家に移住され、6か月以上経過した方に10万円を交付します。

②定住支援交付金

大谷東住宅団地分譲に際し、町外購入者には50万円、町内購入者には25万円を交付します。

☆ 安全で便利な交通環境の整備

「山形直行バス運行事業」

(担当：政策推進課)

山形直行バスは、山形市内の高校等に通学している生徒の保護者の経済的・時間的負担の軽減と、通学・通勤・通院等の利便性向上を図るため、運行いたします。

主な経費

・ 山形直行バス運行経費 926万円

財源内訳

・ 利用者の負担（運賃） 285万円
 ・ 町の負担（一般財源） 641万円

【利用料金】

	高校生以上	中学生以下	小学生未満
乗車1回当り	500円	250円	無料

定期券の種類		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
片道定期	通学	6,000円	17,000円	31,000円	60,000円
	通勤	8,000円	22,500円	41,000円	80,000円
往復定期	通学	12,000円	34,000円	62,000円	120,000円
	通勤	16,000円	45,000円	82,000円	160,000円

※往復定期券に限り、左沢駅前から宮宿間の山交バスも平日利用ができます。

【時刻】

■往路（朝日町 ⇒ 山形市）

4月～11月及び3月

太郎公民館前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北山形駅
6:33	6:42	7:35	7:48	8:00

12月～2月

太郎公民館前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北山形駅
6:18	6:27	7:32	7:48	8:00

■復路（山形市 ⇒ 朝日町）

4月～3月

山交バス本社前	山形駅西口	山形市役所	北山形駅	役場前	太郎公民館前
18:10	18:15	18:20	18:28	19:21	19:30

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）の運行はありません。

ぜひ、ご利用ください。



☆ 安全で便利な交通環境の整備

「デマンドタクシー “あいのり号” 運行事業」

(担当：政策推進課)

町民が目的地から目的地まで安全・安心に移動できる公共交通システムとして、デマンドタクシーの運行を行います。ただし、山交バスの運行区域を除きます。

主な経費

・ デマンド型交通運行経費 1,960万円

財源内訳

・ 利用者の負担（運賃） 470万円
 ・ 町の負担（一般財源） 1,490万円

【運行日】

■月曜日から金曜日の平日に運行します。

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）の運行はありません。

【運行時刻】

●上り（各地区発、宮宿行き）

①午前8時(注1) ②午前9時30分 ③午後1時
 ④午後3時 ⑤午後4時45分

●下り（宮宿発、各地区行き）

①午前9時 ②午前11時 ③午後0時15分
 ④午後2時30分 ⑤午後4時

※乗車人数や運行経路が毎回異なりますので、時刻表は目安となります。また、予約が無い場合は運行しません。

(注1)平、舟渡、川通、大暮山、大沼地区発の1番便は、7時30分になります。

【利用料金】

○全区間1回400円。

○小中学生、障害者手帳所持の方は200円、幼児は無料です。

※12枚綴りの回数券（4,000円）も発行いたします。

○1日乗車券1,000円。（利用日1日に限り何回でも利用できます。）

【予約方法】

- ・受付は予約センターで行います。
- ・予約は運行時刻の30分前まで可能です。ただし午前8時の宮宿行きは、前日の午後6時までです。
- ・受付は、平日の午前7時30分から午後6時までです。

【予約センター電話番号】

67-2173



☆ 安全で便利な交通環境の整備

「町道整備事業・町道維持補修事業」

(担当：建設水道課)

町道の維持補修や整備を計画的に進めます。

主な経費

・町道維持補修	5,084万円
・町道橋維持補修 新規	3,500万円
・町道整備（県道整備町負担金1,000万円含む）	1億2,070万円

財源内訳

・国の交付金	8,775万円
・町の負担（借金・過疎債）	4,500万円
・町の負担（借金・臨道債）	270万円
・町の負担（一般財源）	7,109万円



☆ 循環型地域社会の構築

「空気のふるさと推進・菜の花活用循環型推進事業（菜の花プロジェクト）」

(担当：産業振興課)

町のシンボルである「澄んだ空気」を大切に守るため、環境基本計画に基づき、空気のふるさと推進事業に取り組みます。

また、環境意識が高まる中、耕作放棄地を利用し栽培した菜の花から、菜種油を採取し学校給食等に利用し、使用済みの廃油から再びバイオディーゼル燃料にリサイクルする取り組みを通じ、循環型環境意識の醸成を図ります。

主な経費

・環境学習の実施、菜種油成分検査等	38万円
-------------------	------

財源内訳

・町の負担（一般財源）	38万円
-------------	------



平成24年度の主要な施策一覧 (一般会計)

(千円)

■信頼とつながりにより地域の力をつくる 【地域力の向上】 210,905

○みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト

～ 人材育成や学びの環境づくり、コミュニティづくりを通じて、町民の皆さんと行政や企業、団体など多様な担い手がともに考え、ともに築くまちづくりをすすめます。～

◇地域を支える人材の育成「協働のまちづくり推進プロジェクト」	増額	1,500
◇郷土愛を育む活動の推進		
§一人ひとりが町を好きになる取り組み		
◆エコミュージアム推進事業（エコルーム設置、朝日町検定の実施）	拡充	2,971
◆文化振興事業（創遊館ホール活用事業等）	増額	3,652
§みんなで考え支え築くコミュニティづくり		
◆地域提案型交付金、除雪費支給事業		12,900
◆志藤六郎村おこし基金を活用した地域のシンボルづくり等への助成		3,000
◆和合地域振興センター整備事業（基本設計等）		6,000
◆緑のふるさと協力隊事業	新規	5,680

○みんなで育てる子ども成長プロジェクト《将来を担う子どもたちの教育環境づくり》

～ 安心して教育を受けることができる環境を整えて、学校と地域と家庭が協力して、自ら未来を切り開くたくましい朝日っ子を育てていきます。～

§子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる		
◆子どもの実態に応じたきめ細かな指導		6,000
◆各学校における学力向上への支援		1,500
◆特別支援学校就学補助		900
◆英語指導助手の配置		4,836
§地域、家庭の教育力向上への支援。		
◆家庭、学校、地域一体の子育て推進		740
◆「あさひ教育の日」推進	新規	380
§安心して教育が受けられるための支援・教育内容にあった施設整備		
◆西五百川小学校体育館建設事業	新規	46,000
◆朝日中学校武道館改修事業	新規	11,300
◆町民プール改修事業	新規	25,000

■安定した暮らしができる産業をつくる 【産業力の向上】 165,213

○こだわりのある農業をつくるプロジェクト《地域特性を活かした農業の産地力強化》

～ りんごを中心とした農業は、まちの基幹産業です。全国的にも評価の高い朝日町のりんごづくりやブランド米づくりを支援します。新規就農や新分野の導入などを行う農家を支援し、魅力ある農業をつくり、担い手の確保育成を推進します。～

§安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり		
◆高品質りんご生産緊急対策（新ワイ化導入促進）		4,500
◆りんご輸出拡大対策		2,300
§園芸作物や米などのブランド品づくり		
◆「清流美人」等の米ブランド化、販売促進の支援		1,700
◆和合大堰整備事業（県事業の負担金）		8,850
§農業の担い手の育成		
◆後継者・新規就農者の支援対策	増額	8,518
◆農家提案型補助事業		2,000

○みんなが活躍するものづくりプロジェクト《まちに活力を生み出す産業の創出》

～ 既存企業の活動の支援、まちの産業産物が一堂に会する産業まつりをはじめとしたイベントの実施、優れた技術をもつ町内企業の雇用応援、設備投資支援など、まちを元気にする商工業者を応援します。～

～ 新しい事業の創出を目指して、町外に向けては企業誘致に関する情報の収集・発信に努めます。また、町内に向けては商品開発から販路確保など積極的に起業に向けた支援を実施します。～

§ 既存企業の振興

◆産業力向上海外研修事業補助金		150
◆緊急雇用確保対策事業補助金		1,200
◆雇用維持緊急教育訓練事業補助金		500
◆販路拡大対策事業補助金		1,000
◆町商工会指導事業補助金、商業活性化対策事業補助		6,100
◆商工業融資制度保証料補給金		3,760
◆県商工業振興資金(東北地方太平洋沖地震災害対応資金)利子補助	拡充	620
◆緊急地域雇用特別交付金事業		11,050
◆新規学卒就労者奨励金		300

§ 新たな事業創出への支援・育成：「場」のブランドづくり

◆朝日町産業創造推進機構運営補助金		14,000
◆新事業経営安定対策補助金		2,000
◆企業立地促進奨励金	増額	16,535

○みんな温か交流・観光プロジェクト《地域の宝を活用した交流・観光の促進》

～ 交流・観光の推進を図るため、地域の観光資源の再確認と整備をすすめ、誰もが訪れたい朝日町をつくっていきます。観光振興推進員を配置し、他地域に負けない観光を目指します。これらの取組みをわかりやすく魅力的に広くアピールしていくため、情報発信を推進します。～

◆情報発信戦略策定		1,000
◆地域おこし協力隊事業		3,557
◆観光振興体制の充実(観光協会負担金・補助金等)	増額	10,200
◆観光施設整備事業(総合交流拠点施設調査、観光案内板設置)		7,300

■安心と、魅力のある定住環境をつくる 【定住力の向上】 1,258,879

○みんな支え合うこどもいっぱいプロジェクト《みんな支える子育て環境の整備》

～ 働いている親も安心して子どもを育てていけるよう、子育て支援対策を実施します。無料妊婦健康診査や医療給付事業など経済的な負担の軽減を図ります。統合保育園に子育て支援センターを併設し、子育て相談や情報交換の場を設けます。放課後子どもプランの実施など安心安全な子育て環境の整備を行います。～

§ 町民が安心して利用できる安全な子育て支援拠点施設の整備・活用

◆保育園等運営委託(あさひ保育園、子育て支援センター、放課後児童クラブ、通園バス運行)	増額	137,500
◆子育て総合支援事業(妊娠、出産、子育てまでの総合的な支援の実施)	増額	730

§ 子育てに係る経済的負担の軽減

◆第2子以降の保育料軽減(5,000円定額)、2人目以降減額		19,860
◆中学生以下の医療費完全無料化	拡充	30,291
◆子宮頸がん等ワクチン接種事業(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の無料化)		5,387
◆妊婦健診の完全無料化(14回分)		3,392
◆18歳以下のインフルエンザワクチン接種費用の1/2助成		1,195

§ 地域で支える子育て環境の整備・充実	
◆放課後子ども教室の実施	1,475
◆結婚支援事業	902
§ 高校通学に困らない交通手段の確保	
◆山形市直行バスの運行	9,260
◆バス定期券（宮宿～左沢駅）購入に対する50%助成	3,000
○みんな達者でにこにこ元気プロジェクト《健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備》	
～ 町民の皆さんが、生涯を通じて健康でにこにこ元気に生活していくことができるよう、健康づくり、健康維持、医療、福祉を町、町立病院が連携して支援して行きます。～	
§ 健康づくりと健康チェックの充実（検診事業、健康相談指導事業）	29,898
§ 地域医療の充実	
◆在宅当番医制・休日診療等	2,976
◆朝日町立病院運営補助（地域医療基盤の維持・強化）	増額 241,627
§ 地域における支え合い：高齢者自立生活支援システムの整備	
◆高齢者世帯訪問調査	1,201
◆地域福祉計画策定	新規 1,303
◆長寿クラブ助成、元気クラブ助成、シルバー人材センター運営補助、福祉バス運行委託等	6,264
○安らぎのある自然に優しいまちづくりプロジェクト《安全安心で、快適な環境の整備》	
～ 住、交通、情報など生活基盤の整備、自然資源の保全保護、環境に優しいまちづくりを通じて快適な生活環境の整備を進めます。基盤整備や地域の取組みの推進を通じて安全で安心なまちづくりを進めます。～	
§ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立	
◆消防ポンプ、貯水槽、消火栓等整備事業	23,854
◆安全安心な生活確保事業（自主防災施設整備補助等）	拡充 2,331
◆橋梁長寿命化修繕事業	新規 35,000
§ 快適で多様な住宅環境の整備	
◆生活排水処理事業（合併処理浄化槽の設置補助、排水路整備）	増額 24,767
◆持家住宅建築奨励事業 (持家住宅建築助成、木材製品利用住宅建築助成、住宅リフォーム支援補助、木造住宅耐震診断)	増額 23,100
◆空き屋利活用促進奨励金	増額 500
◆定住支援交付金	1,000
§ 安全で便利な交通環境の整備	
◆デマンド型乗合タクシー運行事業	19,596
◆町道等整備事業	171,542
§ 循環型地域社会の構築	
◆空気のふるさと推進、菜の花活用循環型産業実験事業	384

平成24年度 当初予算額（会計別総括表）

（単位：円、％）

会計の別		区分	当初予算額		比較増減		
			平成24年度	平成23年度	予算額	率	
一 般 会 計			41億1,600万	42億400万	△8,800万	△2.1	
		うち他会計からの繰入	0万	0万	0万	0.0	
		うち他会計への繰出	5億3,756万	5億2,588万	1,168万	2.2	
特別会計	集落排水事業特別会計		2,230万	2,050万	180万	8.8	
			うち一般会計からの繰入	201万	201万	0万	0.0
	国民健康保険特別会計		10億5,200万	10億6,600万	△1,400万	△1.3	
			うち一般会計からの繰入	9,475万	9,454万	21万	0.2
	介護保険特別会計		9億1,930万	9億860万	1,070万	1.2	
			うち一般会計からの繰入	1億6,244万	1億6,359万	△115万	△0.7
			うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
	後期高齢者医療特別会計		8,024万	7,805万	219万	2.8	
			うち一般会計からの繰入	3,434万	3,242万	192万	5.9
			うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
企業会計	病院事業会計	収益的収支	7億8,770万	7億7,720万	1,050万	1.4	
		資本的支出	9,370万	7,460万	1,910万	25.6	
		うち一般会計からの繰入	2億4,163万	2億3,084万	1,079万	4.7	
	水道事業会計	収益的収支	1億5,800万	1億5,900万	△100万	△0.6	
		資本的支出	9,450万	6,470万	2,980万	46.1	
		うち一般会計からの繰入	235万	247万	△12万	△4.9	
総 額			73億2,374万	73億5,265万	△2,891万	△0.4	
会計間のお金の出し入れを除いた正味の総額			67億8,617万	68億2,677万	△4,060万	△0.6	

一般会計予算額（決算額）の推移

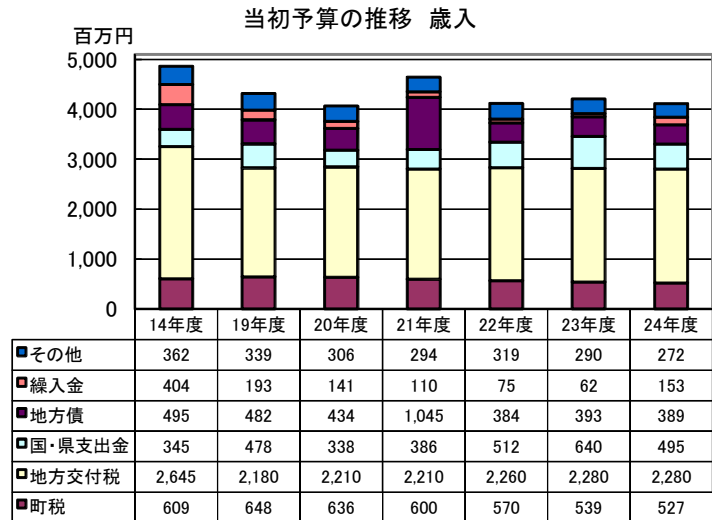
1. 一般会計当初予算の推移・概要

○平成24年度予算規模 41億1,600万円

(前年度比較▲8,800万円、▲2.1%)

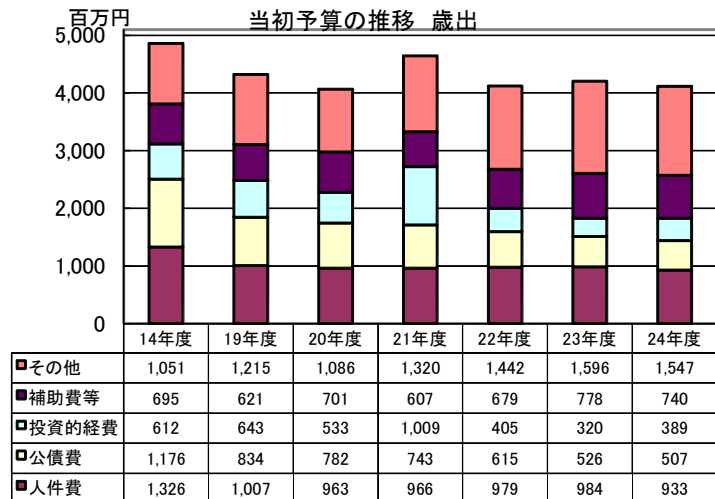
(1) 歳入の特徴

- ・町税：評価替えによる固定資産税の減
- ・地方交付税：地域活性化経済対策関係経費の増、国勢調査人口減による減、公債費算入分の減
- ・繰入金：財政調整基金繰入の増
- ・町債：臨時財政対策債の減



(2) 歳出の特徴

- ・公債費：これまでの起債の抑制、繰上償還による減
- ・投資的経費：西五百川小学校体育館建設事業の増
- ・補助費等：テレビジョン難視聴対策事業補助金の減



2. 人件費の状況

(1) 人件費は平成11年度の13億6,900万円がピーク。

(単位:百万円、%、人)

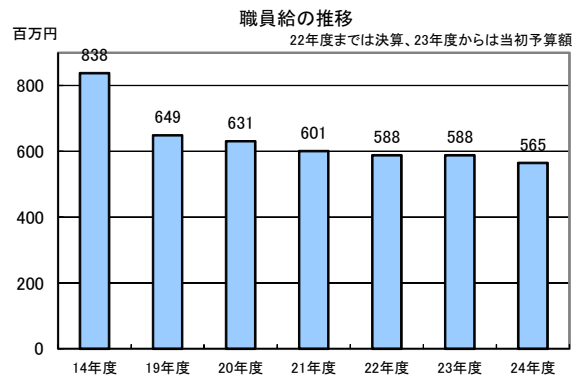
	14年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人件費	1,292	1,011	976	947	949	984	933
伸び率	△3.9	△2.1	△3.5	△3.0	0.2	3.7	△5.2
職員給	838	649	631	601	588	588	565
伸び率	△5.8	△1.5	△2.8	△4.8	△2.2	0.0	△3.9
職員数	135	100	103	103	103	101	99

(22年度までは決算、23年度からは当初予算額)

(2) 職員給・職員数とも

平成11年度の9億2千万円、
149人がピーク。

職員数の削減、給料制度・諸手当の見直しによる減等により、職員給は13年連続の削減。

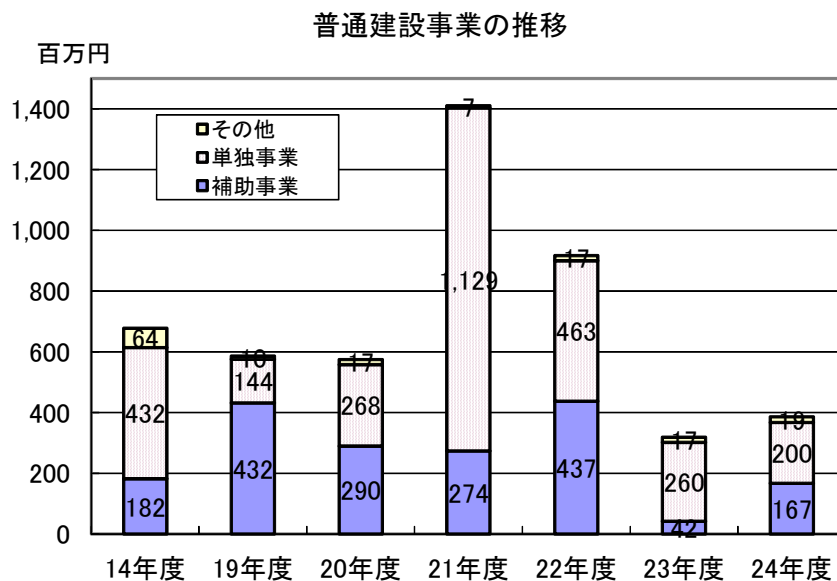


3. 普通建設事業（公共事業）の状況

○平成20年度以降は、『町民生活と地域経済を守る緊急対策』のため積極的に単独事業を実施

○施策の「選択と集中」を行う

- ・21年度は「あさひ保育園整備事業」、22年度は「朝日中学校耐震化改修」、「宮宿小学校体育館建設」のため、増となっている



(22年度までは決算、
23年度からは当初予算額)

4. 財政運営の健全性の維持

(1) 健全化判断比率の健全水準の維持（第3次財政改革実施計画の取り組み）

平成20年度以降は、国の地域活性化・経済対策により、各種地域活性化交付金の創設、地方交付税及び臨時財政対策債の増があり、財政運営の健全化を図りつつ、積極的な『町民生活と地域経済を守る緊急対策』を実施してきた。

24年度も「平成24年度実施計画基本方針」に沿った施策へ選択と集中を図り、積極的に実施する。また、実施にあたっては、国県補助交付金や、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用を努める。

行財政改革や公債費の削減等で経常的経費充当一般財源の抑制を行い、財政運営の健全性を維持する。

○「実質赤字比率」、「連結赤字比率」

財政調整基金残高の維持、一般会計から他会計への適切な繰出補助により、引き続き黒字決算となることが見込まれる。

○「実質公債費比率」、「将来負担比率」

町債残高が増加したが、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用により、県内市町村でトップクラスの健全性を維持する。

	20年度 決算	21年度 決算	22年度 決算	23年度 計画目標値
実質公債費比率	12.1%	11.0%	9.3%	12.5%以下
将来負担比率	53.8%	48.9%	18.1%	83.0%以下

○町債残高は、平成12年度の80億8千万円（減税補てん債1億8千万円を除いた現在高は79億円）がピーク。21年度以降は「あさひ保育園整備」、「朝日中学校耐震化改修」、「宮宿小学校体育館建設」、「西五百川小学校体育館建設」、「役場庁舎・町民体育館耐震化改修」のため増となっている。

(単位:百万円)

	14年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
発行額	473	445	399	1,053	665	1,266	389
臨財債・減税補てん債	214	161	151	234	273	187	180
臨財債以外分	259	284	248	819	392	1,079	209
町債残高	7,216	5,357	5,054	5,473	5,360	6,004	5,944
臨財債・減税補てん債	323	1,548	1,619	1,647	1,776	1,877	1,962
臨財債以外分	6,893	3,809	3,435	3,826	3,584	4,127	3,982

(22年度までは決算、23年度は決算見込)

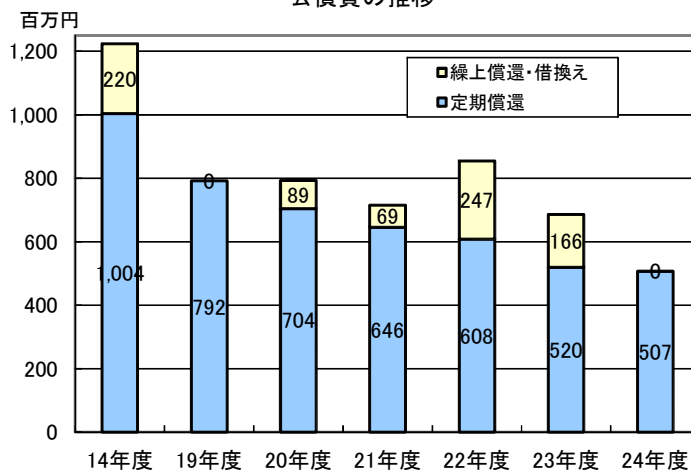
※「決算統計」の記載要領に準じて計上(病院整備に充当した過疎債を除く)

○定期償還分の公債費は、平成15年度の10億2千万円（繰上償還分2億2千万円を加えた公債費は12億5千万円）がピーク。町債発行額の抑制・繰上償還により、8年連続減少

公債費の推移

(22年度までは決算、

23年度は決算見込)



○財政調整基金の年度末現在高は、平成18年度以降7億円超で推移

予算取崩額 平成23年度当初：34百万円

平成24年度当初：135百万円

(単位:百万円)

	14年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
前年度末現在高	318	730	724	731	731	789	918
歳計剰余金処分積立額	103	71	119	127	164	210	50
予算積立額		2	2	2	2	2	2
予算取り崩し額	93	79	114	129	108	83	135
年度末現在高	328	724	731	731	789	918	835

(22年度までは決算、23年度は決算見込)



「平成24年度 朝日町予算説明書」

朝日町総務課